

輝く夢を 抱いて旅立つ 15の春 第56回 清見中学校 卒業式



3月5日(火)、抜けるような青空が清々しいこの日、清見中学校では56回目の卒業式が行われました。今年の卒業生は17人。中学創設以来、最少人数です。しかし一人一人の持ち味を生かし、何事にも積極的に取り組む姿勢がとても印象的でした。人権教育総合推進地域事業に指定された3年間で重なったこともあり、「清見中学校生徒人権宣言」の改正を中心となって推し進めたことをはじめ、「人権」により一層真摯に向き合ってきた学年です。卒業証書授与では、校長の岩佐泰典先生より卒業証書が手渡されました。生徒たちは皆、背筋が伸び、入学当初よりずっと大人になった表情でしっかりと前を見据え、証書を受け取りました。



卒業式の後、17人は最後のホームルームへ。担任の横口亮太先生による学級通信「ファーストペンギン最終章」と銘打った感動的なスライドを鑑賞した後、生徒ひとりひとりが万感の思いを込め、3年間の中学生生活や先生、家族への一言スピーチを行いました。その中には感極まって涙ぐむ生徒の姿も見られました。

卒業生 (17人)

荒木 翔吾	黒淵 友香	中道 天介	更田 光	吉井 智紀
尾崎 八雲	小林 隼斗	野中 梨子	間瀬戸陸乙	
金子 蒼里	清水口姿羅	橋下 颯来	松井ひかる	
上坂 朝陽	殿地 竜汰	橋詰 友輔	山田 翔琉	



清見町まち協だより

第49号
2019年4月1日
清見町
まちづくり協議会
事務所：きよみ館
TEL77-9516(直通)

「支え合い」仲間とともに 6年間 平成30年度 清見小学校卒業式



3月20日(水)、清見小学校にて卒業式が行われました。卒業証書授与では校長の松下操先生から卒業証書を受け取ると、卒業生たちが将来の夢を高らかに宣言しました。その姿は堂々としていて凛々しいものでした。

在校生からの送る言葉では、ありがたうの言葉とともに、清見小の三つの宝「あいさつ・そうじ・あったか言葉」を引き継ぎ、「6年生のようになれるようがんばります」と力強く伝えました。

卒業生 (25人)

新井 晴月	川本 洋嵩	曾出 明里	馬場さわみ	水口 十夢
新田 夏都	後藤 穂高	田中 花怜	藤本 佑梨	道脇 寧々
今山 歩美	坂谷 真緒	取替ゆきの	古谷 優虎	山木 徹平
梶垣 龍樹	下洞 悠月	野中 陽葵	松田 咲乃	山邊 結冬
加藤 優太	下島 梨子	花井康太郎	萬中歩乃佳	吉井 大裕



卒業生は在校生への送る言葉と感謝の言葉、合唱「旅立ちの日に」を披露しました。卒業生退場の際には、5年生による太鼓の勇ましい音で送り出されました。

家庭の日は4月21日(日)です

あいさつで カロリー消費 ダイエット

清見小学校

6年生 大坪 瑠士



第1回 清見地区 防災対応促進委員会



3月15日(金)、きよみ館2階会議室にて、第1回防災対応促進委員会を開催しました。委員長の上坪会長、各地域の自主防災組織隊長の皆さんをはじめとする22人の皆さんが出席しました。

まず当委員会のオブザーバーとして迎えた、高山市民防災研究会事務局長の岩茸伸一氏による講演「機能する自主防災組織づくりと避難所の開設と運営について」が行われました。

続いて、防災委員会の設立の趣旨や回答率80%という住民の高い関心を伺わせる防災アンケートを基にした具体的な取り組みについて説明しました。

自主防災組織隊長のみなさんより質問や貴重な意見を次々といいただき、委員会は大変意義のあるものとなりました。

近年、清見町は6回もの甚大な災害に見舞われております。住民のみなさんが安心・安全に暮らせる環境整備を推し進めていくことは急務です。

みなさんのご意見を参考にし、平成31年度に向けて、具体的な取り組みに努めてまいります。

わくわくつうしん おひなまつり会&閉級式

まち協の神田事務局長のおはなしからはじまった3月のわくわく教室。

3月におたんじょうびを迎えるおともだちに手形つきのたんじょうびカードをプレゼントしたあとは、おかあさん達による絵本の読み聞かせが。みんないい顔で聞いてくれたね。

折り紙でおひなさまを作り、子どもサーキットでからだをいっぱい動かしたあとは、おひなさま、おだいりさまの格好しておひなまつりごっこをしました。おともだちの晴れ姿を写真におさめていたおかあさん達の笑顔がとても印象的でした。最後はみんなでテーブルを囲んでお弁当タイム!おいしかったね。



今年、卒わくするおともだちは10人。わくわく教室の丸山先生からひとりひとりに卒わくカードが贈られました。

4月からわくわく教室でみんなの元気な顔が見られなくてさびしくなっちゃうけれど、保育園に行っても、わくわく教室のことを忘れないでね。



第3回 人権教育推進委員会

2月28日(木)、3年間に及ぶ文科省指定「人権教育総合推進地域事業」のしめくくりとして第3回清見地域人権教育推進委員会を行いました。

最初に清見中学校教頭の菱田正紀先生より2月16日(土)に行われた人権講演会での取組発表の概要を報告しました。校長はじめ15人のみなさんが出席しました。

清見地域人権教育推進委員会は、この3年間で培った人権教育を継続するため、来年度以降も引き続き、「清見あったか子育て会議」の中に位置づけ、取り組み事となりました。

母の鈴 贈呈式

2月28日(木)、清見中3年生の教室に、高山市更生保護女性会清見分会のみなさんが「母の鈴」を携え、訪問しました。人権意識を高め、非行やいじめをなくし、正しい道へと進んでほしいという願いをこの「母の鈴」に託し、それぞれの進路へと巣立ちゆく3年生へ毎年、贈り続けておられます。

「母の鈴」は小さなじみ(貝)に色とりどりの布をまとわせ、一つずつ愛情をこめて手作業で作られています。代表の中村洋子さんは「つらい時、どうか一人でかかえこまないで、遠くから見守っている人があることを思い出してください」という言葉を贈りました。

その後、3年生を代表し、中道天介さんと松井ひかるさんが全員分の母の鈴を受け取り、感謝の言葉を述べました。

